

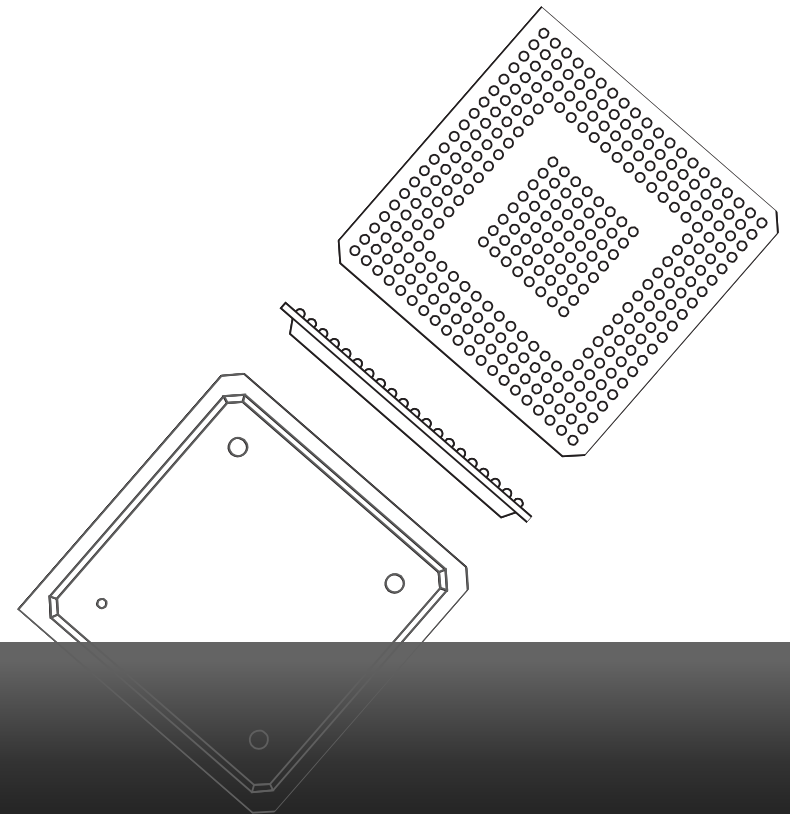
証券コード**6730**

株式会社アクセル

2016年3月期（第21期）第2四半期

アナリスト向け決算説明会

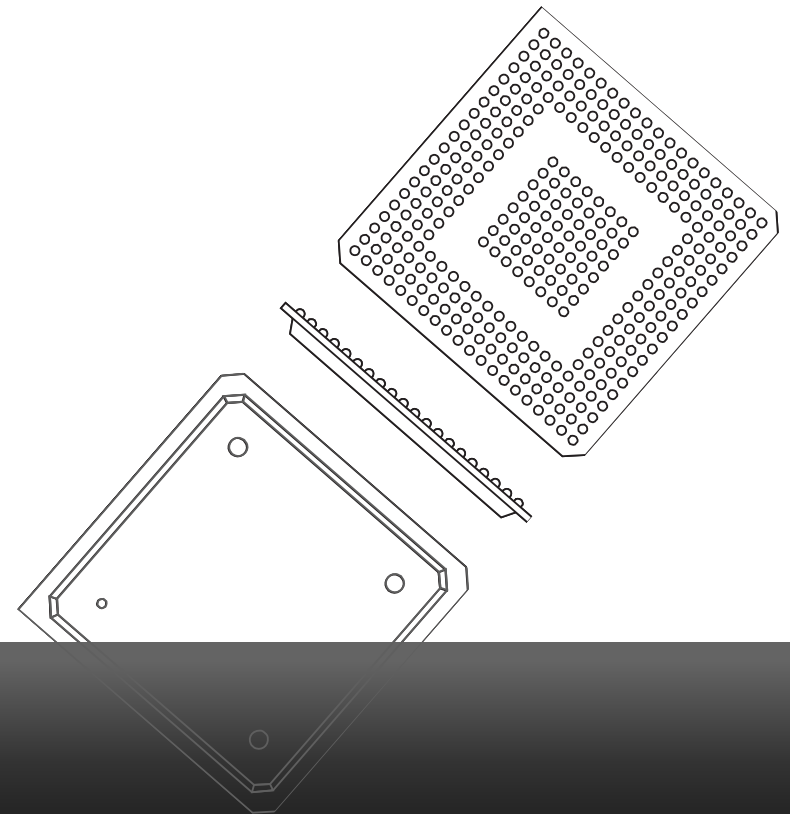
2015年10月26日（決算発表日：10月23日）



1. 2016年3月期第2四半期（累計）のトピックス

2015年10月

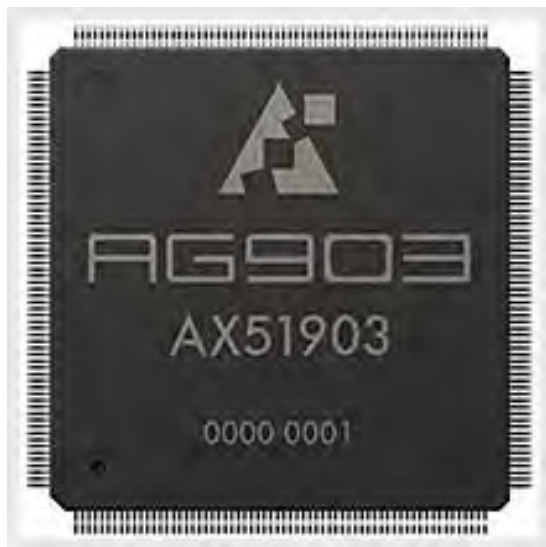
代表取締役社長 松浦一教



上半期のトピックス

- 次世代組み込み機器向けグラフィックスLSI「AG903」のサンプル品が完成
（本格的な量産は2018年3月期）
- 自己株式の取得と消却の実施
- 業績予想（中間）の修正を実施
- コーポレートガバナンス・コードの対応を公表
（10月23日ガバナンス報告書提出）

グラフィックスLSI「AG903」



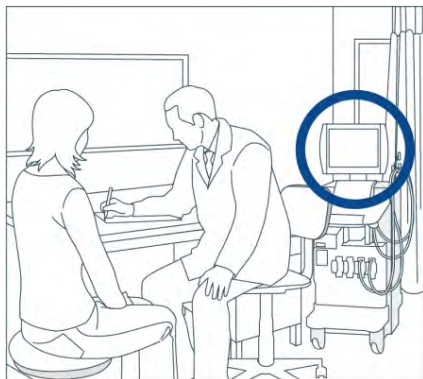
- 「AG9」シリーズの最新製品
- 従来製品からの置換え需要の取り込みと新規顧客の開拓

主な特徴

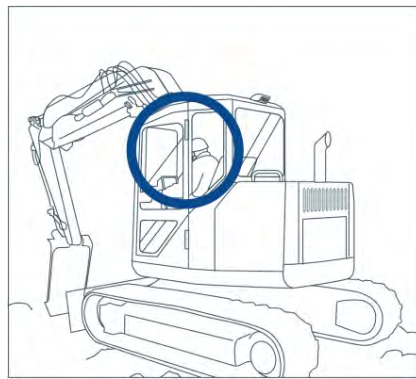
グラフィックスエンジンにCPU、大容量VRAMを統合
→ 顧客のシステムコスト低減に大きく貢献

ET2015（組み込み総合技術展）に出展します。
（2015.11.18-20 パシフィコ横浜）
ブース番号 F-27

用途例



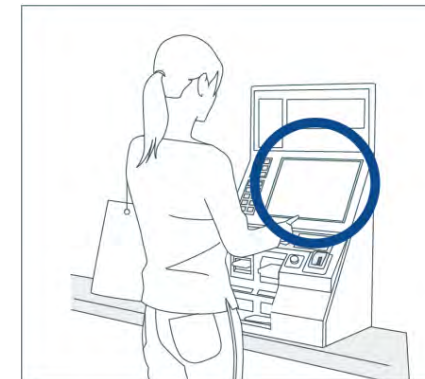
医療機器



建設機器のバックモニタ



デジタルサイネージ



券売機

- 取得決議日 : 2015年4月24日
- 取得期間 : 2015年5月1日～9月24日
- 取得金額 : 20億円
- 取得株数 : 1,214,400 ※発行済株式総数の9.8%
- 取得方法 : 信託方式による市場買付
- 取得目的 : 資本効率の向上



※ 取得した自己株式及び単元未満株式の買取請求により取得した自己株式は全数消却を実施

- 消却決議日 : 2015年10月15日
- 消却株数 : 1,214,503株 ※発行済株式総数の9.8%
- 消却予定日 : 2015年11月2日

(単位：百万円)

	'16/3 中間 当初計画	売上比	'16/3 中間 9.15修正	売上比	'16/3 中間 実績	売上比
売上高	6,400	100%	6,150	100%	6,175	100%
売上原価	3,900	61%	3,280	53%	3,300	53%
売上総利益	2,500	39%	2,870	47%	2,875	47%
販管費 (研究開発費)	2,300 (1,800)	36% (28%)	2,110 (1,610)	34% (26%)	2,103 (1,581)	34% (26%)
営業利益	200	3%	760	12%	771	12%
経常利益	200	3%	740	12%	750	12%
四半期純利益	140	2%	510	8%	519	8%

アクセルのコーポレートガバナンス基本方針

コーポレート・ガバナンスは経営上の重要課題と認識（企業理念に明記）

ガバナンスの充実により、社会的倫理観の保持と経営の健全性、透明性、効率性を高め
「企業価値の向上」と「持続可能な成長」を目指す

ガバナンス・コードの対応

ガバナンス・コードの趣旨に賛同し、全ての原則に対してコンプライ

株主総会の承認が必要な以下の原則は、2016年6月開催の株主総会に付議

補充原則4-2① 長期的な業績に連動する報酬の導入

原則4-8 複数の独立社外取締役の選任（監査等委員会設置会社への移行も検討）

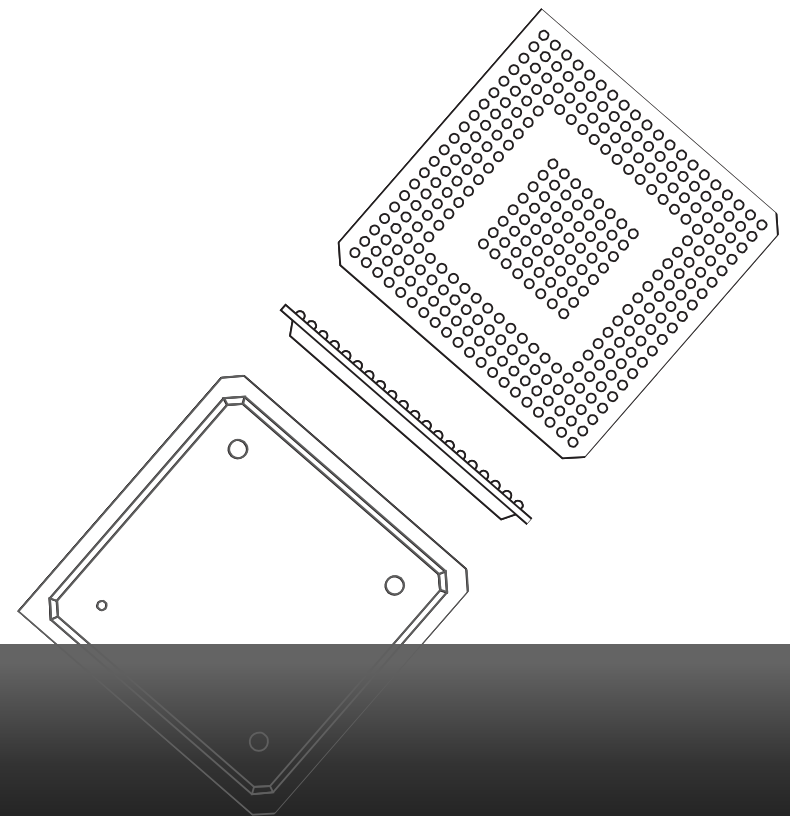
取締役会の実効性の評価については2015年度から実施（2016年6月提出のガバナンス報告書で開示）

ガバナンス・コードの対応に当たり、アクセル コーポレートガバナンス ガイドラインを策定
（掲載先：<http://www.axell.co.jp/company/general/governance.html>）

2. 2016年3月期第2四半期（累計）の業績

2015年10月

IR・広報チーム 植野 悦匡



パチンコ・パチスロ機市場の動向とトピックス

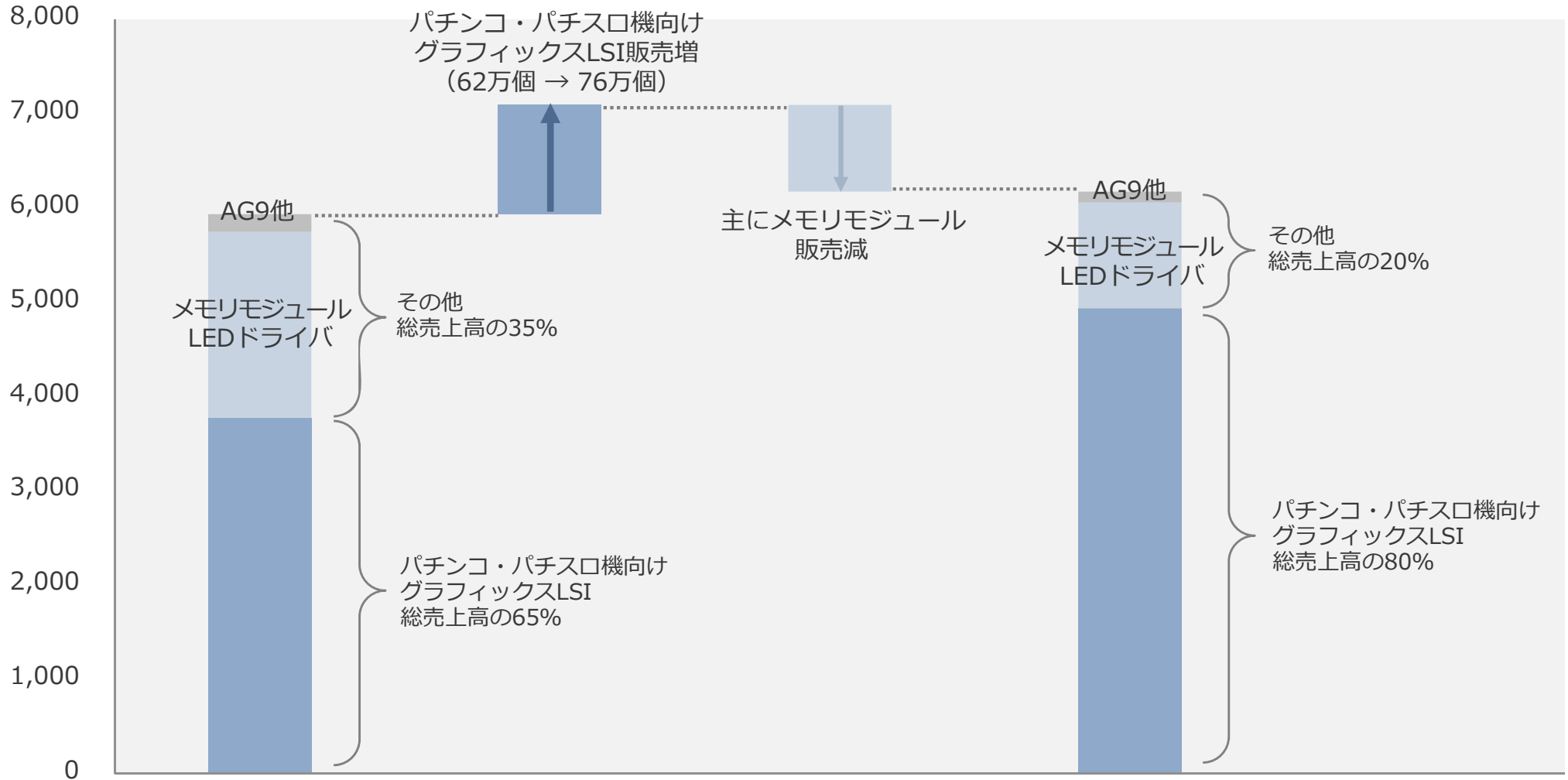
- 2016年3月期のパチンコ・パチスロ機の販売台数は270万台（前年比40万台減）と想定
（2014年9月に実施されたパチスロ機の自主規制の影響を考慮）
→ パチンコ機・パチスロ機ともに概ね当初の想定通りで推移
- 下期以降に影響を与えうる市場トピックス
「のめり込み防止」に向けた自主規制
パチンコ機：2015年11月より実施予定
パチスロ機：2015年12月より実施予定
→ 上期においてはメーカーの駆け込み需要により当社グラフィックスLSIの販売が好調に推移
→ 下期以降の市場動向は不透明（反動減の可能性）

（単位：百万円）

	'15/3 連結 中間実績	売上比	'16/3 中間実績	売上比	増減額	増減率
売上高	5,936	100%	6,175	100%	238	4%
売上原価	3,472	58%	3,300	53%	△172	△5%
売上総利益	2,464	42%	2,875	47%	410	17%
販管費 (研究開発費)	1,368 (843)	23% (14%)	2,103 (1,581)	34% (26%)	735 (737)	54% (87%)
営業利益	1,096	18%	771	12%	△324	△30%
経常利益	1,103	19%	750	12%	△352	△32%
四半期純利益	781	13%	519	8%	△261	△34%

売上高 6,175百万円（前年同期比 238百万円増）

（単位：百万円）



'15/3連結 中間実績

売上高 5,936百万円

'16/3 中間実績

売上高 6,175百万円

(単位：百万円)

	'15/3連結 期末	構成比	'16/3 中間末	構成比
流動資産	13,689	94%	11,620	93%
現金・預金	8,500	58%	8,657	69%
有価証券	2,999	21%	—	—
売掛金	550	4%	521	4%
商品及び製品	1,483	10%	2,179	17%
その他	154	1%	261	2%
固定資産	872	6%	918	7%
資産合計	14,562	100%	12,538	100%
流動負債	969	7%	765	6%
固定負債	35	0%	58	0%
負債合計	1,005	7%	824	7%
自己株式	△0	△0%	△2,000	△16%
純資産合計	13,556	93%	11,714	93%
負債・純資産合計	14,562	100%	12,538	100%

現金同等物の増加は次シート、
キャッシュ・フロー計算書を参照

10月以降に販売を予定しているAG5,
メモリモジュール製品の在庫増加

流動負債	'15/3	'16/3 中間末
買掛金	170	262
未払法人税等	137	240
その他	662	262

(単位：百万円)

	'15/3 連結 中間実績	'16/3 中間実績
現金及び現金同等物の期首残高	9,908	11,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,403	△338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74	△131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373	△2,372
現金及び現金同等物の増加（△減少）額	954	△2,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,862	8,657

営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前純利益：750百万円
 たな卸資産の増加：△696百万円
 その他流動負債の減少：△240百万円
 法人税等の支払：△129百万円

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得：△74百万円

財務活動によるキャッシュ・フロー

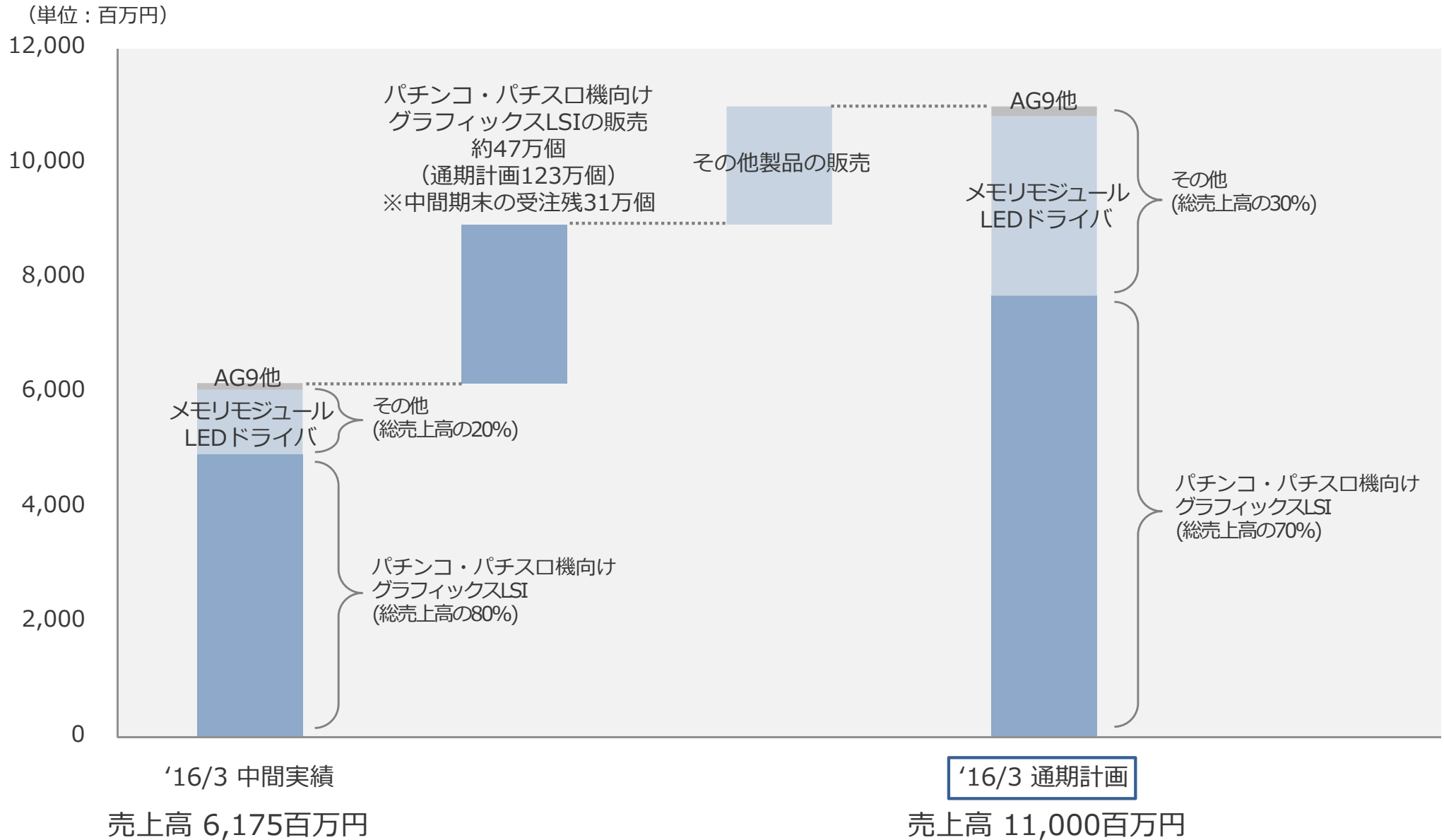
自己株式の取得：△2,000百万円
 配当金の支払額：△371百万円

(単位：百万円)

	'16/3 中間 実績	売上比	'16/3 計画	売上比	差額 (下期必要額)	売上比
売上高	6,175	100%	11,000	100%	4,824	100%
売上原価	3,300	53%	6,500	59%	3,199	66%
売上総利益	2,875	47%	4,500	41%	1,624	34%
販管費 (研究開発費)	2,103 (1,581)	34% (26%)	4,260 (3,250)	39% (30%)	2,156 (1,668)	45% (35%)
営業利益	771	12%	240	2%	△531	△11%
経常利益	750	12%	240	2%	△510	△11%
当期純利益	519	8%	165	2%	△354	△7%

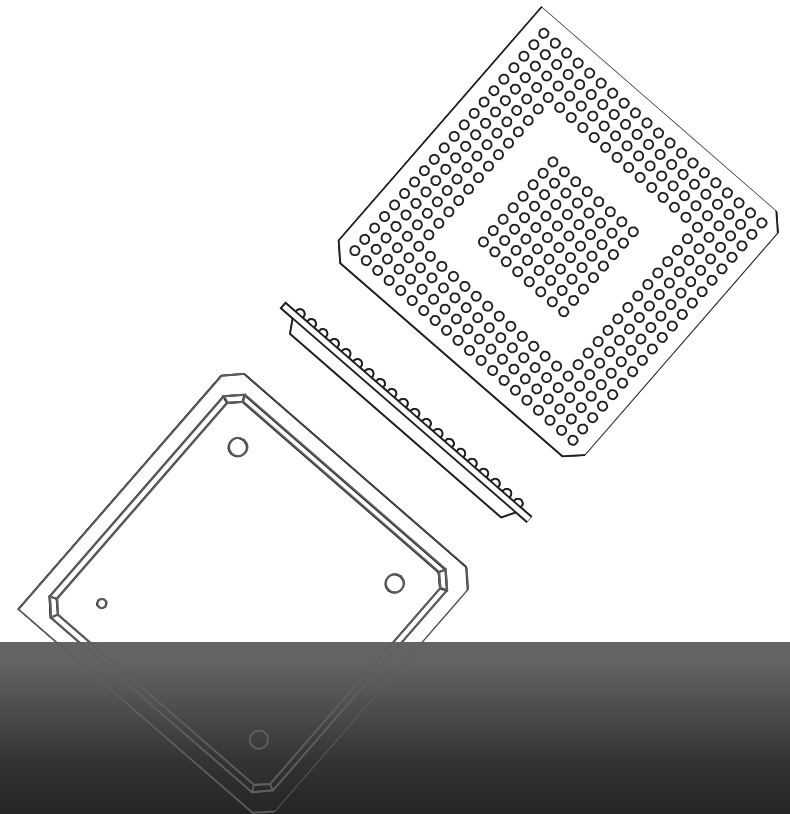
受注残：2,569百万円

売上高計画 11,000百万円（計画達成に必要な下期売上高 4,824百万円）



3. 補足資料

2015年4月27日開催 決算説明会資料（抜粋）



パチンコ・パチスロ機市場の動向と業績予想の概要

- 2016年3月期のパチンコ・パチスロ機の販売台数は、270万台と想定し業績予想を計画
 - パチンコ機の「のめり込み防止」に向けた自主規制の影響（2015年11月より実施予定）
 - パチスロ機の型式試験の運用変更の影響（2014年9月実施）
- 2016年3月期の業績予想の概要
 - 売上高、売上総利益はほぼ横ばい
 - 市場の縮小、AG5の量産開始、リユースの影響低下
 - 販管費の大幅な増加（主に研究開発費）により、各利益は減益計画
 - 前期の期ずれ分に新規開発案件が重なる
 - 次世代グラフィックスLSI（AG6）の開発費の負担大

（単位：百万円）

	'15/3 実績	売上比	'16/3 計画	売上比	増減額	増減率
売上高	11,073	100%	11,000	100%	△73	△1%
売上原価	6,342	57%	6,500	59%	157	2%
売上総利益	4,731	43%	4,500	41%	△231	△5%
販管費 （研究開発費）	3,086 (1,948)	28% (18%)	4,260 (3,250)	39% (30%)	1,173 (1,301)	38% (67%)
営業利益	1,645	15%	240	2%	△1,405	△85%
経常利益	1,659	15%	240	2%	△1,419	△86%
当期純利益	1,115	10%	165	2%	△950	△85%

市場分析

市場規模	310万台		270万台			
リユースの影響	約32%		約25%			
G-LSI个数	126万個		123万個			

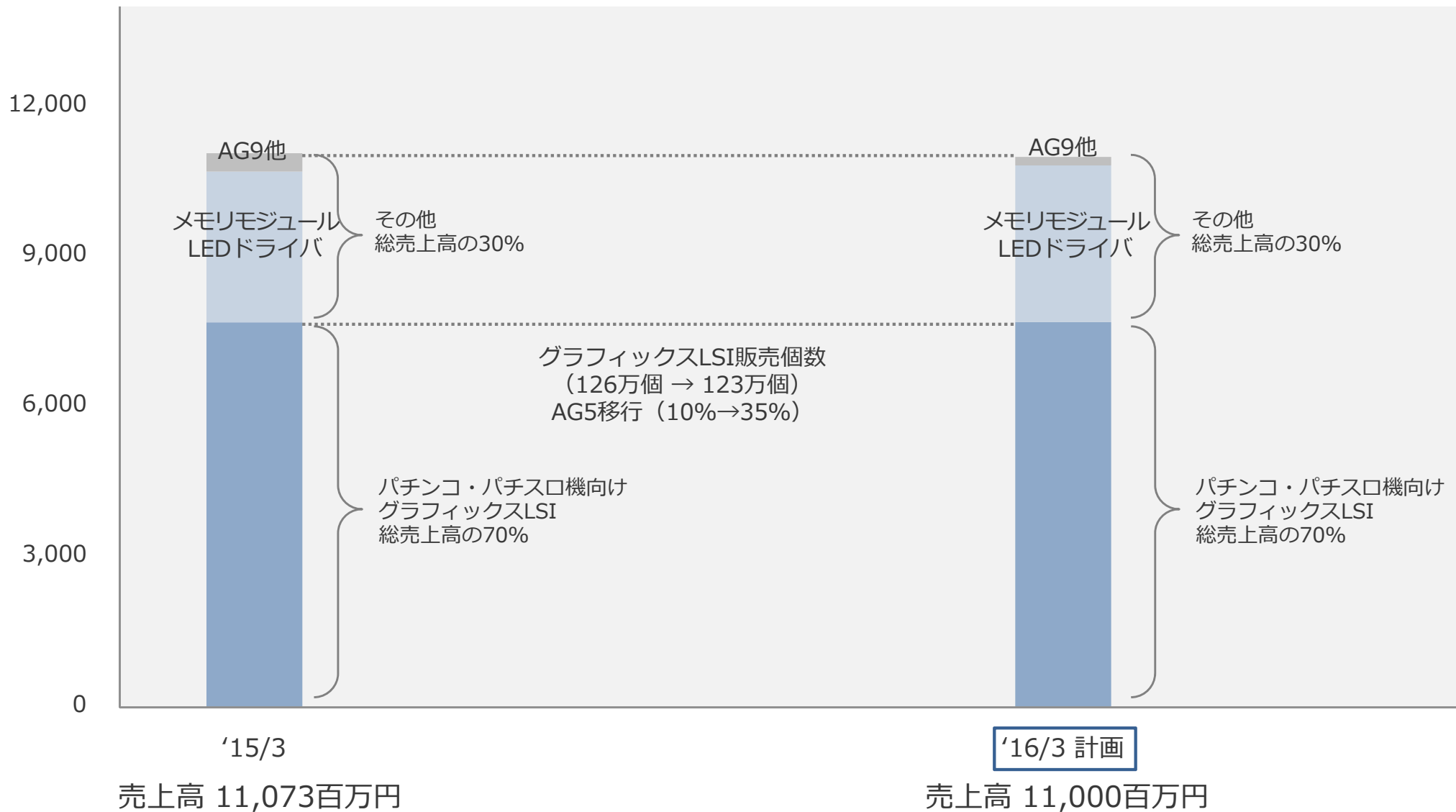
※ 3月末受注残：4,266百万円

※ 市場規模（パチンコ・パチスロ機の年間販売台数）、リユースの影響は当社分析による推定値です。

※ G-LSIはパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIを意味する。

売上高 11,000百万円（対実績比 73百万円減）

（単位：百万円）



販売費及び一般管理費の内訳

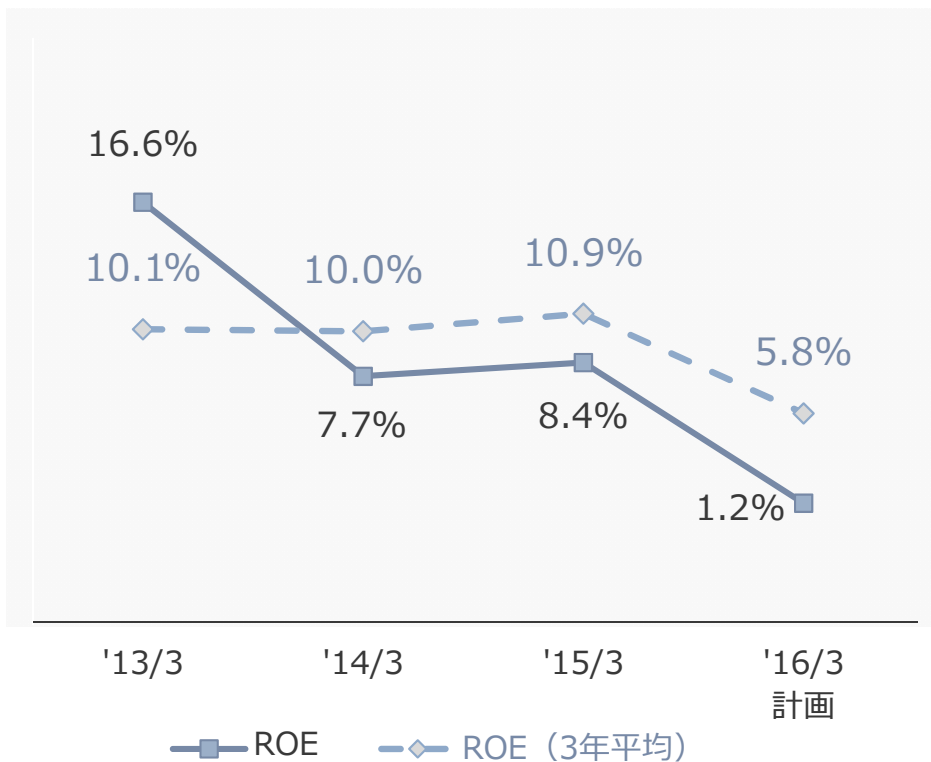
	'15/3 実績	構成比	'16/3 計画	構成比	増減額	増減率
販管費	3,086	100%	4,260	100%	1,173	38%
管理系人件費	620	20%	510	12%	△110	△18%
管理系経費	516	17%	500	12%	△16	△3%
研究開発費	1,948	63%	3,250	76%	1,301	67%

研究開発費の増加要因

- 試作開発費の一部が開発遅延により前期から今期にシフト
 - 4製品のLSI試作開発費が今期に集中計上(AG903、演出周辺LSI、LEDドライバなど)
- 次世代主力製品AG6の開発スタート
 - コスト負担大
 - 試作開発費の一部が今期から計上

経営指標

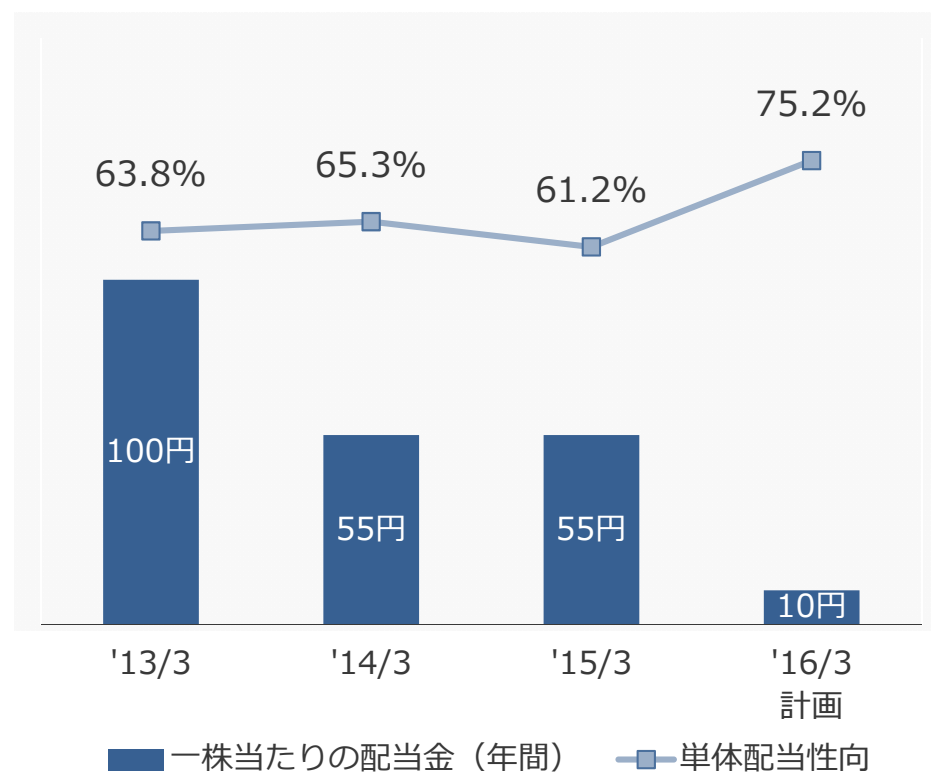
企業価値向上を意識しROEを経営指標に設定
3年平均10%を指標に事業展開



計画純利益から算出した'16/3のROEは1.2%
'13/3,'14/3は連結、'15/3,'16/3は個別決算の数値

配当政策

原則として単体配当性向50%
減配になる場合は従前の配当水準を考慮



'15/3末の配当は1株当たり30円 (年間55円)
'16/3の年間配当は1株当たり10円を計画 (中間期末各5円)

目標指標	水準
売上高	180億円
ROE	15%

目標達成のための基本方針

パチンコ・パチスロ機市場における下記3つの施策で業績目標の達成を目指します

重点施策

- ① グラフィックスLSIのシェアアップ
- ② システム製品による事業規模拡大
 - ・ グラフィックスLSIを中核としたシステム製品
 - ・ メモリモジュールのシェアアップ
- ③ 新しい演出周辺製品の開発

業績目標策定時（2014年4月）からの認識の変化

■ 市場規模

□ 想定以上に厳しい市場環境

- パチンコ機の自主規制(のめり込み防止)
- パチスロ機の型式試験の運用変更(2015年12月以降、出玉管理をメイン制御側に一本化)

→ 2019年3月期の市場規模の前提を300万台から290万台に修正

■ 主力製品の移行状況

□ 2016年3月期も引き続きAG4が販売の主力

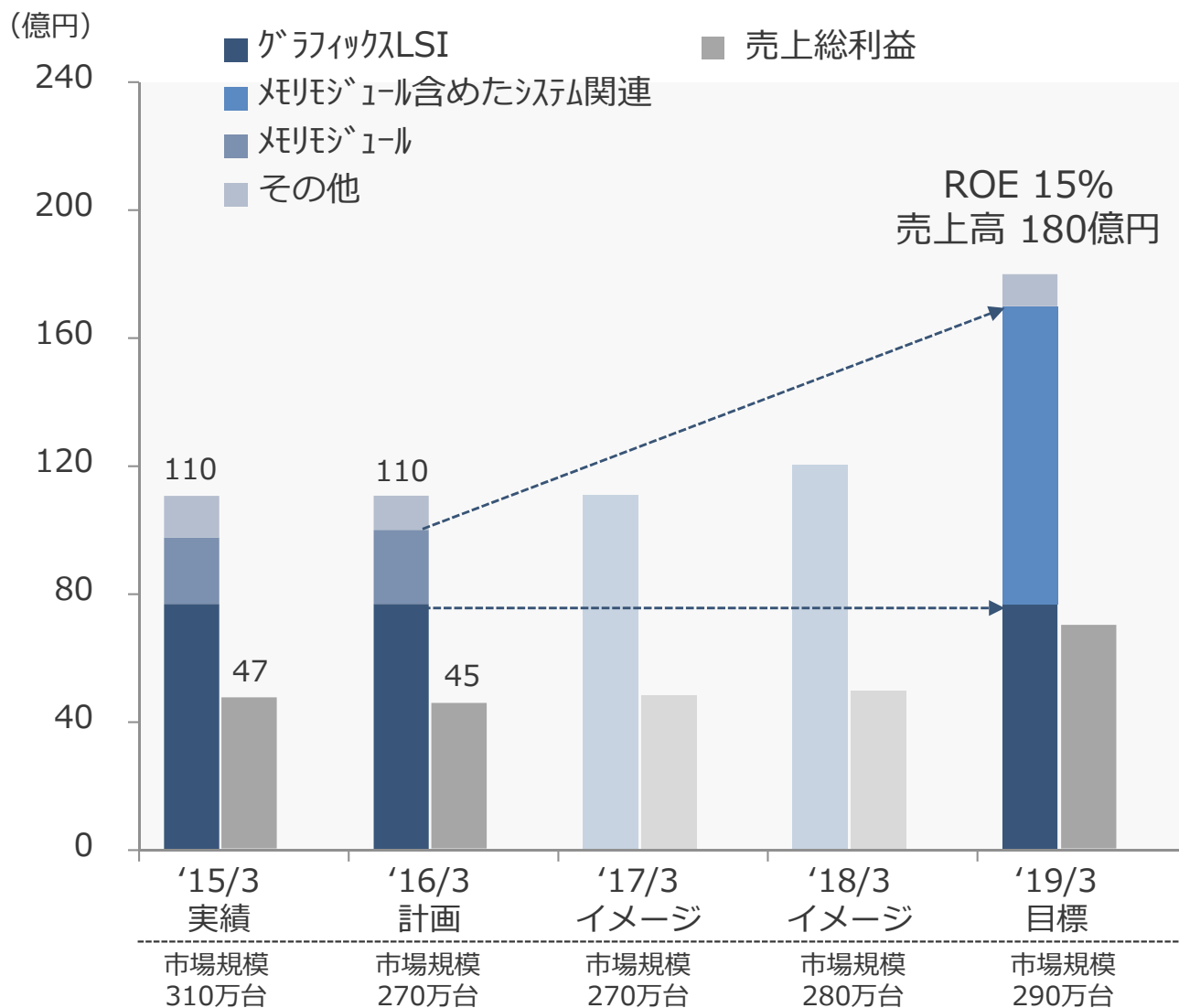
- AG5の割合は2015年3月期が10%、2016年3月期が35%の見込み

□ AG5への移行が想定以上に遅延

- 市場規模縮小に伴い、利益確保優先のリユース志向がより顕著
- 画像用メモリの容量制限により新規基板への変更動機が低下
 - 映像制作費の負担を抑えるため、日工組の申し合わせにより現状上限が64Gbitに制限されている

売上高180億円、ROE15%

業績目標と目標値の想定



2019年3月期の業績向上要因

1. グラフィックスLSIのシェアアップ
2. AG6の量産開始
3. グラフィックス関連システムの本格展開
4. メモリモジュールの複数社数採用
5. 演出周辺LSIの立ち上がり



本資料に記載の予想数値を含む将来に係る情報は、現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の一部または全部を弊社の許可なく、転載・複写することのないようお願い申し上げます。